

青少年ふくしま

福島県青少年育成県民会議
第82号
令和7年7月18日

日頃より、皆様には、福島県青少年育成県民会議の事業につきまして、温かい御支援や御協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、近年、少子高齢化が進行し、家族構成や価値観が多様化するとともに、スマートフォンやSNSなどの情報化社会の進展等により、青少年を取り巻く環境は大きく変化し、青少年の意識や行動にも大きな影響を及ぼしています。

青少年の健全育成に向けた課題が一層複雑化・多様化する中、私たち大人は、青少年が心身ともに健康で社会に参画できるよう、家庭・学校・地域において青少年の生活や考え方に理解を深め、自立を支える取組をより進めていくことが求められています。

当県民会議は、各市町村民会議、関係機関・団体、企業、NPOの皆様との緊密な連携のもとに、青少年健全育成のために諸活動を展開してまいりますので、これまで以上に皆様の御支援、御協力をお願いいたします。



【令和6年度「家庭の日」絵画・ポスター作品】
◇小学校高学年の部 絵画部門 最優秀賞
「畑で取れたあまくて大きなとうもろこし」
西郷村立熊倉小学校 5年 菊池 蓉子 さん

組織

令和7年度 福島県青少年育成県民会議について

【役員】

- ・ 会長 : 内堀 雅雄[福島県知事]
- ・ 副会長 : 富田 孝志[(公財)福島県青少年育成・男女共生推進機構理事長]
: 阿部 君江[(一財)福島県婦人団体連合会会長]
- ・ 理事 : 11名[高荒 由幾 常勤理事は福島県青少年会館館長と兼務]
- ・ 監事 : 2名

【会議員】

- ・ 関係行政機関、学識経験者、青少年育成団体、青少年団体、報道機関
(本年度 136 団体及び個人)

重点推進事項

- 1 「大人が変われば、子どもも変わる県民運動」の推進
- 2 「地域の子どもは、地域で見守り育てる運動」の推進
- 3 青少年関係機関・団体との連携の強化
- 4 青少年を取り巻く有害環境対策の推進

主な事業の概要

ふくしま青少年育成セミナー

《第1回》 令和7年6月28日（土）13:30～15:15

【若者の自立支援・子ども若者支援】

会場：福島県青少年会館（福島市）大研修室

演題：「発達障がいの理解と就労支援」

講師：医療創生大学 心理学部 教授 山本 佳子 氏



【令和7年度 第1回セミナー】

《第2回》 令和7年9月27日（土）13:30～15:15

【貧困問題・児童虐待・家族支援】

会場：福島県青少年会館（福島市）大研修室

演題：「ヤングケアラーを支える社会を目指して2」（仮題）

講師：医療創生大学 心理学部 教授 鎌田 真理子 氏

「大人への応援講座」開設支援事業

- 市町村や教育機関、青少年育成関係団体、企業等が開催する「大人への応援講座」へ、登録講師の中から最適な講師を派遣する事業に取り組んでいます。（随時受付）

「家庭の日」作品募集

- ◇募集対象 県内在住もしくは県外に避難している小・中・高生
- ◇募集期間 令和7年6月15日（日）「家庭の日」～令和7年9月3日（水）必着
- ◇表彰 各部門で対象別に審査を行い、優秀な作品については次のとおり表彰等を行います。
 - （1） 最優秀賞の受賞者には賞状及び賞品を贈呈します。
 - （2） 優秀賞または優良賞の受賞者には賞状を贈呈します。
- ◇発表 令和7年11月上旬に各報道機関に作品・氏名を発表するほか、絵画、ポスターの入賞作品は、「福島県青少年会館」（福島市黒岩）のロビーに展示します。
- ◇賞の授与 最優秀者には、令和7年11月20日（木）開催予定の「福島県青少年健全育成推進大会」の席上で賞を授与します。また、作文部門の最優秀賞受賞者には、併せて受賞作品の朗読をお願いすることとします。

「夏の思い出」ものづくり体験事業

- ◇ 対 象 小学4年生以上の児童、生徒
- ◇ 開催日時 令和7年7月19日（土）13：30～15：30
- ◇ 内 容 陶芸教室
- ◇ 定 員 20名
- ◇ 参加費 500円（教材費）



【ものづくり体験事業「陶芸教室」】

第47回少年の主張福島県大会

- ◇ 開催日時 令和7年9月25日（木） 12：30～16：00
- ◇ 開催場所 喜多方プラザ文化センター
住所 〒966-0094 福島県喜多方市字押切二丁目1番地
電話 024-124-4611
- ◇ 対 象 中 学 生
- ◇ 募集期間 令和7年6月2日（月）～8月26日（火）（必着）
- ◇ 表 彰 最優秀賞1人、優秀賞5人及び優良賞10人に選ばれた方に、賞状及び賞品を授与します。
- ◇ 全国大会への出場
最優秀賞に選ばれた方は、北海道・東北ブロックで選考を受け、令和7年11月16日（日）東京で開催される「第47回少年の主張全国大会」に出場します。

第48回福島県青少年健全育成推進大会

- ◇ 開催日 令和7年11月20日（木）
- ◇ 場 所 パルセいいざか
- ◇ 参加者 一般県民、市町村民会議員、県民会議会議員、青少年団体代表等
- ◇ 内 容 表彰、朗読・発表、大会宣言の採択等



【令和6年度 福島県青少年健全育成推進大会】

【連絡・問い合わせ先】 福島県青少年育成県民会議（福島県青少年会館内）
住所 〒960-8153 福島市黒岩字田部屋53-5
TEL 024-546-0002
FAX 024-546-8312
Mail f-kenminkaigi@fukushima-youth.com
【HP アドレス】 <https://www.fukushima-youth.com/conference/>



随感：福島県青少年会館が役割を終えても

福島県青少年育成県民会議
常勤理事 高荒 由幾

私は、福島県青少年育成県民会議の常勤理事という役職のほかに、公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構副理事長兼福島県青少年会館館長という役職をいただいております。誤解される方が多いのですが「福島県」を冠してはいても、福島県青少年会館は当法人が建設・運営している民間の施設です。

この随感をお読みいただいている皆様は、福島県青少年会館を利用されたことはあるでしょうか。福島県青少年育成県民会議の総会のときに訪れる程度、とおっしゃる方が多いかもしれません。

その会館を令和8年6月末に閉館し、令和9年9月までに建物を解体し、敷地を県に返還いたします。会館の跡地には福島県中央児童相談所が移転新築される予定です。

昭和54年に開館し、宿泊ができる青少年の研修の場として利用されてきた青少年会館ですが、近年は青少年の利用が激減し、企業等による研修利用がほとんどとなっております。

経営上も、赤字かわすかの黒字を計上するのが精一杯の状況だった上、老朽化に伴い、財団では到底対応できない額の資金を要する設備上の課題を抱えていたため、昨年度から会館の今後について福島県に相談させていただいておりました。

最終的に、会館が建設されている県有地に福島県中央児童相談所を移転新築したいという福島県からの申し入れを受け、財団理事会において閉館を議決いただきました。

建設から約半世紀。世の中は大きく変わりました。例えば、会館建設当時なかった携帯電話サービスは急速に発展し、今やスマホでつながるインターネットやAIが生活になくてはならないものとなっています。生活や価値観がダイナミックに変わっていく中で、古い価値観で建設されたままアップデートできない青少年会館は今の青少年のニーズに答えられなくなっておりました。

福島県青少年会館は一つの時代を象徴していました。その役割を終えて表舞台から姿を消します。しかし、生活、価値観などさまざまなことが変わったが故に新たな問題が生まれており、次代を担う青少年の育成は、これまで同様重要な課題です。

福島県青少年育成県民会議は、引き続き皆様と力を合わせ、青少年の育成に取り組んで参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。